

【教育目標】

【知】自ら学び、考え、進んで行動する人

【徳】互いを尊重し、協力する人

【体】心身ともにたくましく健康な人

杉並区立中瀬中学校

下井草4-3-29 TEL 3399-2196

中瀬中みんなで本当の成功を目指そう！

校長 香西雅斗

「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉通り、連休が明けると秋の空気に変わりました。科学と自然の散歩みちでは、目に鮮やかな赤いヒガンバナ（曼殊沙華）が咲いています。中瀬中でも校庭南側のビオトープに白いヒガンバナが咲いています。

さて中瀬中は体育大会に向け準備と練習を進めています。そんな今だからこそ、君達生徒と確認したいのは『誰のための体育大会か?』ということです。

体育大会に限らず、これからある音楽発表会にせよ何にせよ、**全ての行事は**、もちろん自分のため、自分のクラスのためでもあるのですが、何よりも

『三年生が輝く!』 ために行うのです。なぜなら **三年生は中瀬中の顔。誰よりも中瀬中のことを思い、努力している三年生が輝いて、初めて中瀬中が輝くのです。** そのために一・二年生ができることは、一生懸命、**元気よく頑張る**こと。元気よく**声を出し、技を競い合い、応援**することです。

頑張った時、いつもは見えてこなかったものが見えてくる！ 感じられなかったことが感じられる！ 分からなかったことが分かるようになってくる！ ～水のおいしさ、風の気持ちよさ、そして仲間の思い～

真剣さが輝き、何事も一生懸命取り組むことは、何よりもカッコいい のです。

もう一つ君達に伝えたいのは、卒業した三年生の思い。(運動がとても苦手な生徒でした)

全員リレーで自分の番が来て走った時、せっかく差を開いてくれたのに、どんどん抜かされていく自分…。あの時はすごく申し訳なかった。

「どうしてこんなに足が遅いのだろう？」そう思いながら走っていました。けど「大丈夫、全力で走ったんだから平気だよ」と励ましてくれました。

その言葉は、その時の私にとって大きな支えになり、自分のクラスを大きな声で応援することができました。

ムカデでは、スタートダッシュが失敗して、かなり遅れをとり「もうダメだ」と一瞬思いました。でも「これで最後なんだ。ビリでもいい、全力で頑張って走しよう」と心の中で言い聞かせ、ノドが枯れるまで「一・二」をずっと言い続けていました。

結果は一位じゃなかったけど、あきらめずに最後まで全力で本当に良かった。その時、すごく嬉しく感じました。

私は、本当は当日休むつもりでした。みんなに迷惑をかけたくない。その思いがあり、家でも泣いてしまったこともありました。

でも、今回で良かった。みんなに励まされて、全力で走り切った気持ち。今でもあの感覚は忘れません。

『頑張ればいい』ただそれだけ。ふざけて一位になるより、真面目に走ってビリになった方がどれほどいいか、そう思えました。

それほど勝負よりも(勝負も大切だけど)団結が大切だと身にしみました。

今回はとても楽しかったです。

「**団結とは気持ちを一つにして頑張ること。お互いに支え合い、励まし合うこと**」なのです。

体育大会で、運動が得意な者が頑張るのは、ある意味当然。だからこそ **運動が苦手な人が「やって良かった」と思えるのが本当の成功**なのです。全てのクラス、そして中瀬中みんな、本当の成功を目指そう！

オンラインホームルーム試行

9月26日(土)の5時間目は、それぞれ家に戻って初めてのオンラインホームルームを行いました。つながらなかったのはクラス1~2人で、大半は区貸し出しのルーターとの接続の不具合が原因でした。休校の際の対応はお願いしてあります。

怪我で入院している生徒が参加し、久しぶりに顔が見れたクラスもありました。杉並区は一人一台のタブレットの貸与の実施を決めていることもあり、休校時だけでなく、日常的に活用できる可能性を感じさせる、オンラインホームルームの試行でした。



<電子黒板に投影してホームルーム>



<アクリル板の入った技術科室>

時差登校を終了します

図書館、理科室、技術室にアクリル板が入りました。そこで、図書館開放、理科や技術の実験実習を開始します。

また、学年を越えた交流を行うためにも、時程をそろえます。具体的には体育大会の翌日から、8:25 朝学活始、8:35 1校時始…12:25 4校時終、給食は12:55まで、13:15 5校時始、15:05 6校時終です。登校時間は、1年生が30分、2年生が15分早くなります。

ただ感染症拡大予防のため、ロッカーは廊下に出したまま、ゴミは自分で持ち帰ります。

中瀬言葉の検定

10/10(土)に「中瀬言葉の検定」を、試験官として地域・保護者の協力を得て実施します。

この冊子には、生徒たちの十年後、二十年後の人生が豊かになるため、さらに世界へ飛び出していっても通用する「多くの先人たちの素晴らしい知恵や感性があふれている40の言葉や文」がつまっています。

卒業までにコンプリートを目指しましょう。

中瀬検定は平成17年に中瀬中学校に着任され、6年間校長として在職された、藤川 章 先生の時代に始まりました。当時は新入生が53名の学年があるなど、中瀬中学校にとって、とても厳しい時代でした。でも先生たちは藤川先生を中心に、中瀬中学校の素晴らしさを再確認し、新しいブランドを作ろうとピオトープやエンカウンターに取り組み、今の中瀬中の基礎を作りました。中瀬検定もその取組の一つです。

藤川先生はその後、お隣の天沼中学校に赴任され、天沼中学校の教員とともに中瀬検定を「天沼検定～言霊百選～」に磨きあげられました。それを基に中瀬中学校の先生が、四十の言葉と文に絞ったのが「中瀬言葉の検定」です。



<体育大会:生徒のアイデアの十字綱引き>

音楽発表会について

以前にお知らせしたように、音楽発表会は実施の方向で考えています。ただ、会場の杉並公会堂が感染予防のため ○座席が500席ほどしか使えない ○例年昼食を食べていた場所が使えない ○一つの座席を違う人が使う時は会場全体を1時間かけて消毒する など使用上の制約があるため、保護者の参観は事実上でできません。

ご承知おきください。

練習については、歌えるマスクを学校で購入しする、教室では全員練習を行わないなどの工夫をして進めます。また吹奏楽部、合唱部の発表は行う予定です。正式には決定していませんが、午前・午後に各学年2クラスずつの発表、現地集合・現地解散を考えています。

※すでにお知らせしたように、中瀬中は今年度に限り前後期制になります。9月までが前期で、通知表は10月9日(金)に生徒に渡します。(前期の所見欄は省かせていただきます)